

# 橋本市立学校適正規模・適正配置に関する保護者アンケート調査報告書

橋本市立小中学校の適正規模・適正配置の見直しを検討するうえでの参考資料とするため、小学校及び中学校の保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

## 【調査対象】

橋本市立小学校及び中学校に通う子供をもつ保護者

## 【実施期間】

令和5年7月6日から7月13日

## 【方法】

各学校を通して保護者に配布し回収

## 【配布数及び回答結果】

配布数：3,153人 小学校1,980人 中学校1,173人

回答数：2,087人 小学校1,298人 中学校789人

回答率：66.2%

※同じ学校に児童・生徒が複数いらっしゃる場合は、上の子でアンケートを実施しています。

※小・中学校の両方に通学する児童・生徒がいる場合は、小学校・中学校それぞれでアンケートを実施しています。

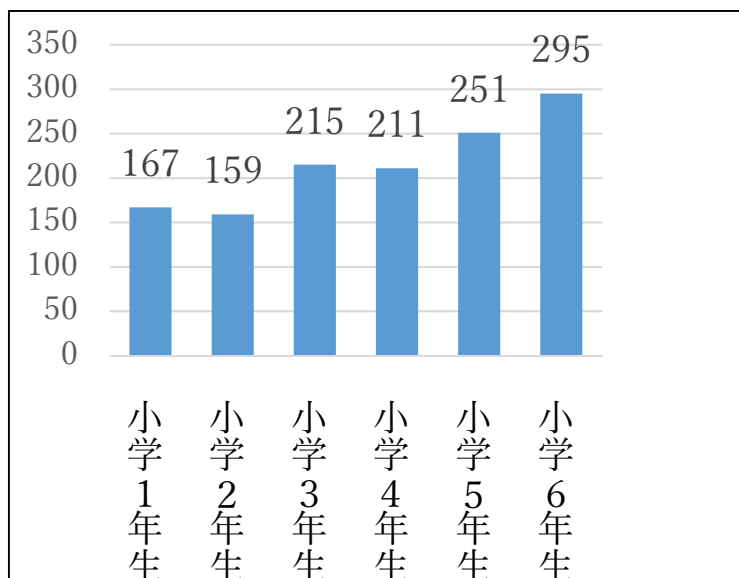
## 【留意事項】

- (1) 比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下四捨五入して算出しているため、合計が100%とならない場合があります。
- (2) 比率は回答者数に対する比率を算出しています。このため複数選択が可能な設問の合計比率は100%を超えます。

## 小学校

問1 アンケートを持ち帰った児童（お子さま）の学校名と学年をお答えください。

小学校での回答者数は1,298人でした。各学年での回答数は以下のとおりです。



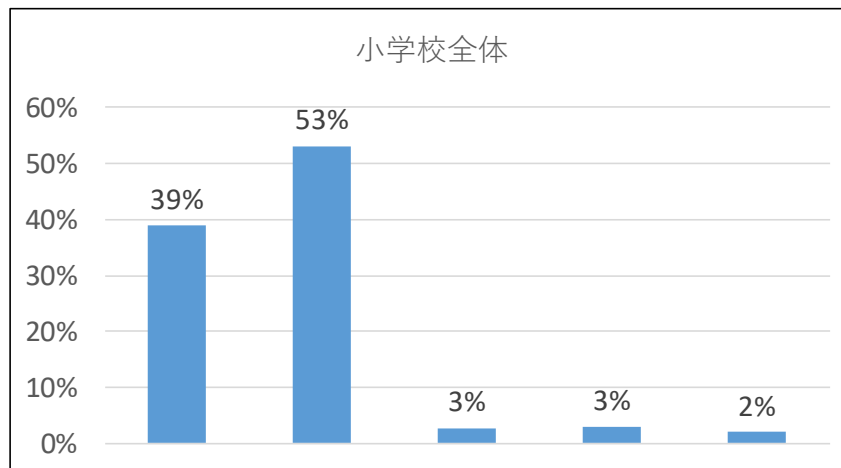
問2 学校教育で最も重視してほしい項目を1つお選びください。

「児童生徒一人ひとりの状況が十分に把握され、きめ細やかな指導が行われること」(53%)の割合が最も高く、続いて「児童生徒が多様な考えに触れ、切磋琢磨し、資質や能力がさらに伸びること」(39%)の順となっています。なお、各選択肢の割合について学校規模による明らかな差は見られませんでした。

【学校規模の分類】

複式学級：複式学級がある学校      単学級：単学級だけの学校

複数学級：複数学級がある学校



小学校全体	39%	53%	3%	3%	2%
複式学級	37%	57%	3%	3%	1%
単学級	39%	53%	4%	2%	3%
複数学級	39%	53%	3%	3%	2%
	こ と 琢 磨 し 、 資 質 や 能 力 が さ ら に 伸 び 切 磋 琢磨 し 、 資 質 や 能 力 が さ ら に 伸 び 切 磋	れ 把 握 こ と と 児童 生徒 一人 ひと り の 状 況 が 十 分 に 把握 され 、 き め 細 か な 指 導 が 行 わ れ る	徒 題 地 の を 域 住 民 と 学 校 が 連 携 し 、 地 域 の 児童 生徒 の 学 習 が 深 ま る こ と	学 ど 学 校 の 社 会 性 や 能 力 を 伸 ば す こ と 学 校 の 社 会 性 を 深 め る こ と 学 校 の 設 備 を 複 合 化 な ど で 福 祉 分 野 な る	選 択 な し

問3 児童（お子さま）が通っている学校に改善してほしい項目があればお選びください。（最大3つ）

全体では「特になし」（60％）の割合が最も高く、続いて「クラス替えができず、人間関係が固定化していること」（20％）、「クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと」（16％）、「グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと」（7％）の順となっています。

#### 【学校規模別】

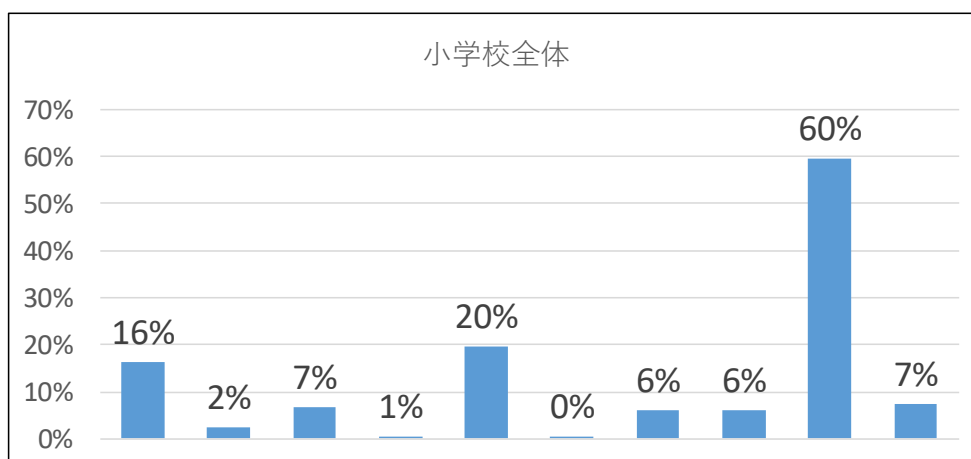
全体で最も割合が高かった「特になし」（60％）は、複式学級の学校（38％）や、単学級の学校（35％）では複数学級の学校（65％）よりも大きく低い割合となり、その他の選択肢の割合が増加しています。

まず、「クラス替えができず、人間関係が固定化していること」（20％）は、複式学級の学校（40％）や、単学級の学校（52％）では、複数学級の学校（14％）よりも高い割合となっており、「特になし」を抜いて最も割合が高い選択肢となりました。

同様に、「クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと」（16％）でも、複式学級の学校（24％）や、単学級の学校（29％）が、複数学級の学校（14％）よりも高い割合となっています。

同様に、「グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと」（7％）でも、複式学級の学校（24％）や、単学級の学校（16％）では、複数学級の学校（4％）よりも高い割合となっています。

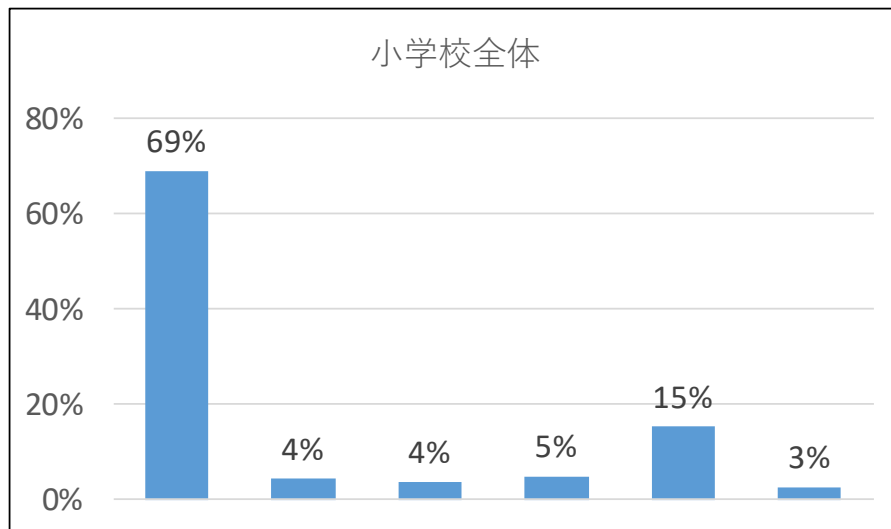
一方で、「同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと」（6％）のように、複式学級の学校（0％）や、単学級の学校（1％）よりも、複数学級の学校（7％）が高い割合となった選択肢もみられました。



小学校全体	16%	2%	7%	1%	20%	0%	6%	6%	60%	7%	
複式学級	24%	0%	24%	0%	40%	0%	18%	0%	38%	9%	
単学級	29%	1%	16%	0%	52%	0%	13%	1%	35%	4%	
複数学級	14%	3%	4%	1%	14%	1%	4%	7%	65%	8%	
	クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと	児童数が多く、学校行事等で係や役割分担のない子が現れるなど、一人ひとりが活躍する場や機会が少なくなること	グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと	グループ学習でグループ数が多く、意見を発表できる機会が少ないこと	クラス替えができず、人間関係が固定化していること	児童間のつながりが弱いこと	クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、行事の教育効果が下がること	児童数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・	同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと	特になし	選択なし

問4 現在、より良い環境で子どもたちに教育を提供できるよう、小・中学校の適正な規模や配置について検討を進めています。将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを1つお選びください。

全体では「児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）と安全性の確保」（69％）の割合が最も高く、続いて「統合後の新しい人間関係への不安の解消」（15％）が2番目に高い割合となりました。

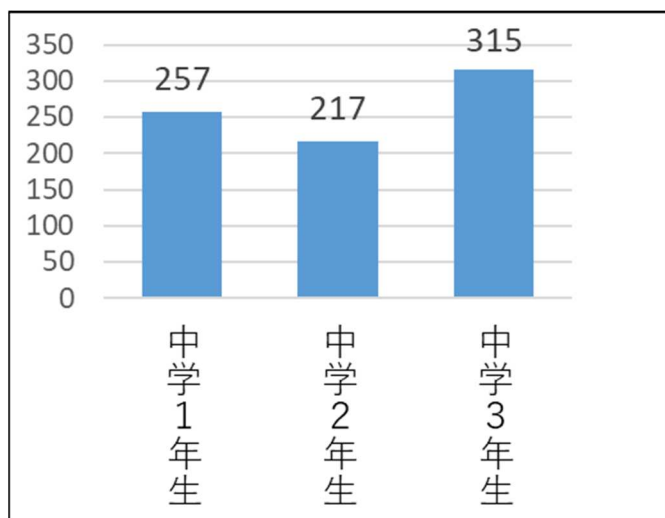


小学校全体	69%	4%	4%	5%	15%	3%
複式学級	60%	4%	2%	3%	29%	2%
単学級	81%	3%	3%	2%	10%	2%
複数学級	69%	5%	4%	5%	14%	3%
	と（児童生徒の通学条件） と（児童生徒の通学条件） と（児童生徒の通学条件） と（児童生徒の通学条件） と（児童生徒の通学条件） と（児童生徒の通学条件） と（児童生徒の通学条件）	の一定程度の児童生徒数の確保	学校施設の老朽化対策	学校と地域のつながり	統合後の新しい人間関係への不安の解消	選択なし

## 中学校

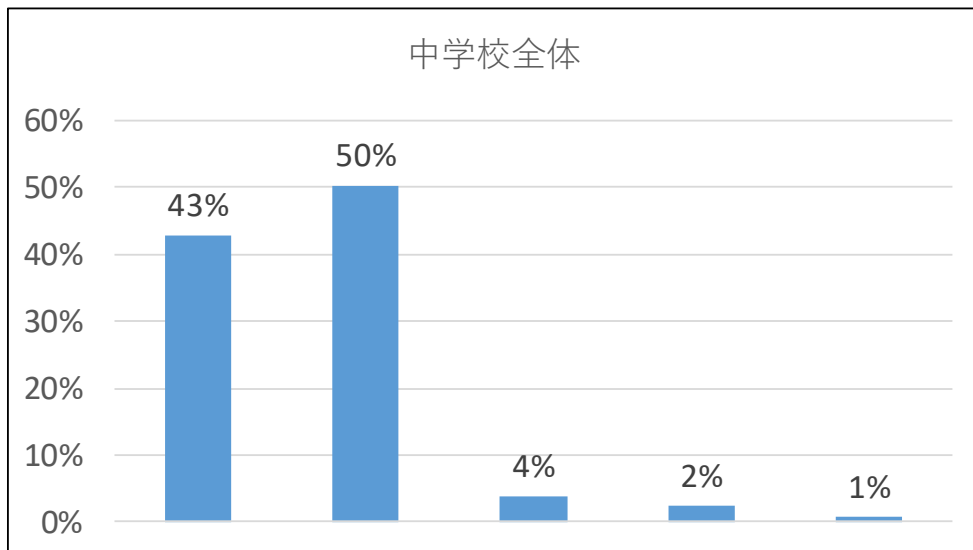
問1 アンケートを持ち帰った生徒（お子さま）の学校名と学年をお答えください。

中学校での回答者数は789人でした。各学年での回答数は以下のとおりでした。



問2 学校教育で最も重視してほしい項目を1つお選びください。

「児童生徒一人ひとりの状況が十分に把握され、きめ細やかな指導が行われること」(50%)の割合が最も高く、続いて「児童生徒が多様な考えに触れ、切磋琢磨し、資質や能力がさらに伸びること」(43%)が2番目に高い割合となりました。

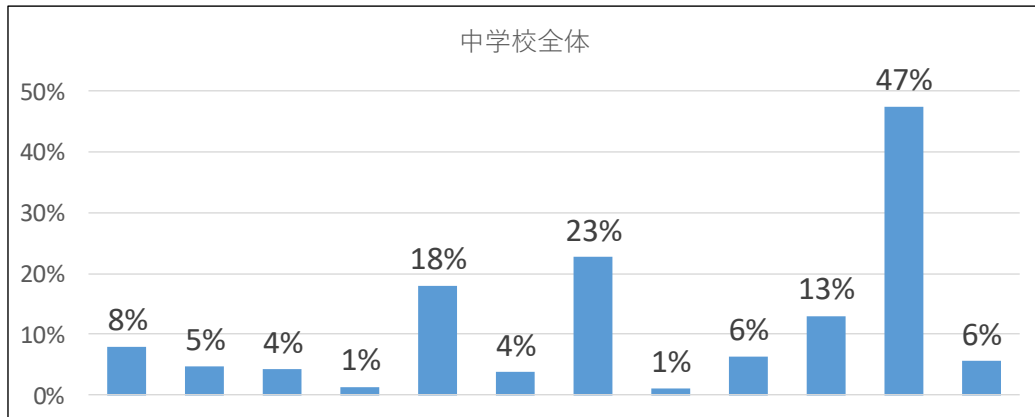


中学校全体	43%	50%	4%	2%	1%
	こ 琢 児 と 磨 童 し 生 、 徒 資 が 質 多 や 様 能 な 力 考 が え さ に ら 触 れ 伸 び 切 る 磋	れ 把 児 る 握 童 こ さ 生 と 徒 、 一 き 人 め ひ 細 と や り か の な 状 な 況 指 導 が 十 分 に	徒 題 地 の を 域 学 解 住 び 消 民 が す と 深 る 学 ま 力 校 る を が こ 養 連 と う 携 、 等 携 、 地 児 域 童 の 生 課	学 ど 学 校 の 校 の 社 施 中 会 設 で 性 の 能 を 複 力 を 合 伸 め 化 ば る な す ど だ こ 、 福 と 特 祉 色 分 あ 野 る な	選 択 な し



問3 生徒（お子さま）が通っている学校に改善してほしい項目があればお選びください。（最大3つ）

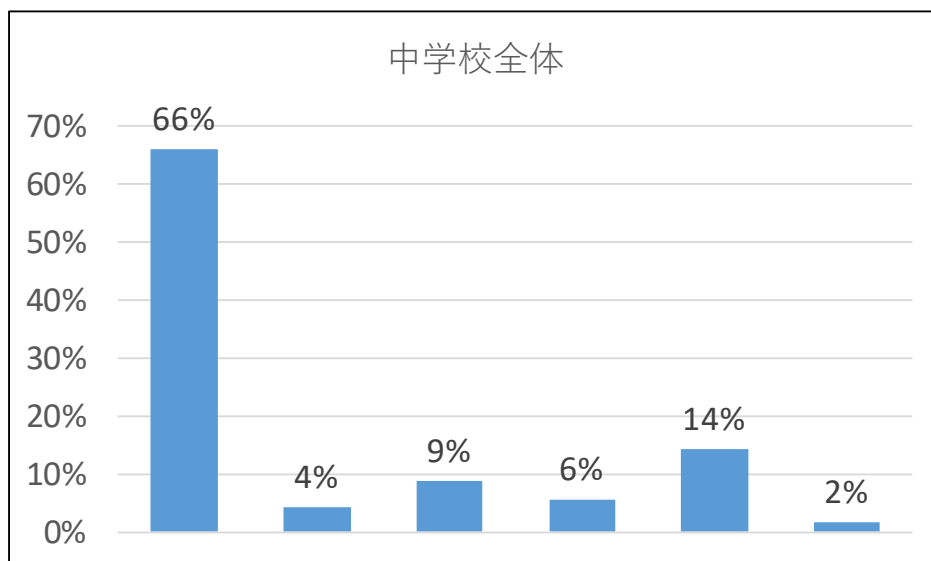
「特になし」（47％）の割合が最も高く、続いて「生徒数が少なく、部活動の種類が限定され、希望する活動が選択肢にないこと」（23％）、「人間関係が固定化していること」（18％）、「同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと」（13％）の順になっています。



中学校全体	8%	5%	4%	1%	18%	4%	23%	1%	6%	13%	47%	6%	
	クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと	生徒数が多く、一人ひとりが活躍する場や機会が少なくなること	グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと	グループ学習でグループ数が多く、意見を発表できる機会が少ないこと	人間関係が固定化していること	クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、生徒間のつながりが弱いこと	生徒数が少なく、部活動の種類が限定され、希望する活動が選択肢にないこと	生徒数が多く、部活動でレギュラーになれない生徒が出てくること	行事の教育効果が下がること	生徒数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・	同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと	特になし	選択なし

問4 現在、より良い環境で子どもたちに教育を提供できるよう、小・中学校の適正な規模や配置について検討を進めています。将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを1つお選びください。

「児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）と安全性の確保」（66%）の割合が最も高く、続いて「統合後の新しい人間関係への不安の解消」（14%）の順となっています。また、「学校施設の老朽化対策」（9%）については、小学校（4%）よりも少し高い割合となっています。



中学校全体	66%	4%	9%	6%	14%	2%
	と（児童生徒の通学条件） 安全・距離・時間・方法の確保	の一定程度の児童生徒数の確保	学校施設の老朽化対策	学校と地域のつながり	統合後の新しい人間関係への不安の解消	選択なし

＼これからの学校について考えています／

## アンケートにご協力をお願いします

実施主体 橋本市立学校適正規模・適正配置検討委員会  
実施期間 7月6日～7月13日  
対象者 小学生、中学生の保護者の皆様  
提出方法 学校へ直接提出してください（お子さまに持参させてください）  
提出期日 7月13日までをお願いします

（アンケート記入に際してのお願い）

小・中学校の両方にお子さまがいらっしゃる場合、お手数ですが両方のアンケートに回答をお願いします。同じ学校にお子さまが複数通われている場合は、上のお子さまにアンケート用紙を配布しています。

回答は学校名、学年はアンケート用紙に直接ご記入、又は○で囲んでください。

問2～4は回答欄に該当する番号をご記入ください。自由記載は直接ご記入ください。

### 【アンケートの目的】

橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針は、学校の適正規模（1学年や学校全体のクラス数、1クラスの児童生徒数）や、適正配置（通学距離や時間）について基本的な方針を定めたもので、橋本市教育委員会が、子どもたちにより良い教育環境を整備するために平成26年に策定したものです。

この方針に基づいて、平成28年に西部中学校・橋本中学校・学文路中学校の橋本中央中学校への統合が行われました。

学校適正規模・適正配置検討委員会では、橋本市教育委員会の諮問を受けて、現在の基本方針の見直しに関し、様々な視点から検討を重ねており、このアンケート結果も参考に検討を重ねていく予定です。

保護者の皆様の学校教育に対する考えをぜひお聞かせください。ご協力をよろしくお願いいたします。

（現在の橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針や、見直しに関する情報は下記のQRコードからご覧いただけます。）



お問い合わせ先

橋本市教育委員会教育総務課 適正規模適正配置担当

電話 0736-25-6345（直通）

FAX 0736-33-2657

メール edusomu\_tt@city.hashimoto.lg.jp

（裏面のアンケートにご記入ください。）

## 学校適正規模・適正配置に関する保護者アンケート(小学校)

問1 アンケートを持ち帰った児童(お子さま)の学校名と学年をお答えください。

記入欄: 小学校

○をつけてください : 1)1年生 2)2年生 3)3年生 4)4年生 5)5年生 6)6年生

問2 学校教育で最も重視してほしい項目を1つお選びください。

回答欄

- ① 児童生徒が多様な考えに触れ、切磋琢磨し、資質や能力がさらに伸びること
  - ② 児童生徒一人ひとりの状況が十分に把握され、きめ細やかな指導が行われること
  - ③ 地域住民と学校が連携し、地域の課題を解消する力を養うなど、児童生徒の学びが深まること
  - ④ 学校施設の複合化などで福祉分野などの社会性を深めるなど、特色ある学校の中で能力を伸ばすこと
- その他(自由記載)

--

( )

### 【適正規模・適正配置に関してお伺いします】

問3 児童(お子さま)が通っている学校に改善してほしい項目があればお選びください。(最大3つ)

回答欄

- ① クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと
  - ② 児童数が多く、学校行事等で係や役割分担のない子が現れるなど、一人ひとりが活躍する場や機会が少なくなること
  - ③ グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと
  - ④ グループ学習でグループ数が多く、意見を発表できる機会が少ないこと
  - ⑤ クラス替えができず、人間関係が固定化していること
  - ⑥ クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童間のつながりが弱いこと
  - ⑦ 児童数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がること
  - ⑧ 同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと
  - ⑨ 特になし
- その他(自由記載)


( )

問4 現在、より良い環境で子どもたちに教育を提供できるよう、小・中学校の適正な規模や配置について検討を進めています。将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを1つお選びください。

回答欄

- ① 児童生徒の通学条件(距離・時間・方法)と安全性の確保
  - ② 一定程度の児童生徒数の確保
  - ③ 学校施設の老朽化対策
  - ④ 学校と地域のつながり
  - ⑤ 統合後の新しい人間関係への不安の解消
- その他(自由記載)

--

( )

## 学校適正規模・適正配置に関する保護者アンケート(中学校)

問1 アンケートを持ち帰った生徒(お子さま)の学校名と学年をお答えください。

記入欄: \_\_\_\_\_ 中学校

○をつけてください : 1)1年生 2)2年生 3)3年生

問2 学校教育で最も重視してほしい項目を1つお選びください。

回答欄

- ① 児童生徒が多様な考えに触れ、切磋琢磨し、資質や能力がさらに伸びること
  - ② 児童生徒一人ひとりの状況が十分に把握され、きめ細やかな指導が行われること
  - ③ 地域住民と学校が連携し、地域の課題を解消する力を養うなど、児童生徒の学びが深まること
  - ④ 学校施設の複合化などで福祉分野などの社会性を深めるなど、特色ある学校の中で能力を伸ばすこと
- その他(自由記載)

--

[ ]

### 【適正規模・適正配置に関してお伺いします】

問3 生徒(お子さま)が通っている学校に改善してほしい項目があればお選びください。(最大3つ)

回答欄

- ① クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと
  - ② 生徒数が多く、学校行事等で係や役割分担のない子が現れるなど、一人ひとりが活躍する場や機会が少なくなること
  - ③ グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと
  - ④ グループ学習でグループ数が多く、意見を発表できる機会が少ないこと
  - ⑤ 人間関係が固定化していること
  - ⑥ クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、生徒間のつながりが弱いこと
  - ⑦ 生徒数が少なく、部活動の種類が限定され、希望する活動が選択肢にないこと
  - ⑧ 生徒数が多く、部活動でレギュラーになれない生徒が出てくること
  - ⑨ 生徒数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がること
  - ⑩ 同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと
  - ⑪ 特になし
- その他(自由記載)


[ ]

問4 現在、より良い環境で子どもたちに教育を提供できるよう、小・中学校の適正な規模や配置について検討を進めています。将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを1つお選びください。

回答欄

- ① 児童生徒の通学条件(距離・時間・方法)と安全性の確保
  - ② 一定程度の児童生徒数の確保
  - ③ 学校施設の老朽化対策
  - ④ 学校と地域のつながり
  - ⑤ 統合後の新しい人間関係への不安の解消
- その他(自由記載)

--

[ ]

## 自由記載の内容

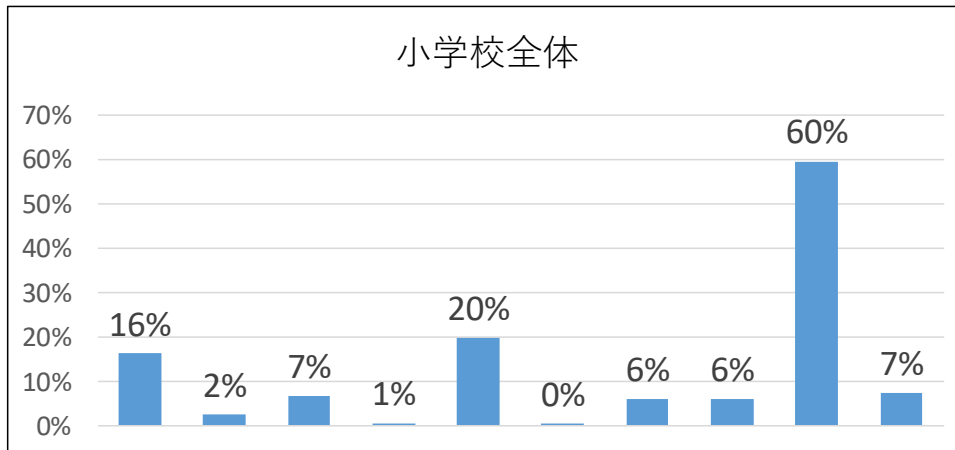
	小学校			中学校		
設問	問2 学校教育で最も重視してほしい項目を1つお選びください。	【適正規模・適正配置に関して伺います】 問3 学校に改善してほしい項目があればお選びください。(最大3つ)	問4 現在、より良い環境で子どもたちに教育を提供できるよう、小・中学校の適正な規模や配置について検討を進めています。将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを1つお選びください。	問2 学校教育で最も重視してほしい項目を1つお選びください。	【適正規模・適正配置に関して伺います】 問3 学校に改善してほしい項目があればお選びください。(最大3つ)	問4 現在、より良い環境で子どもたちに教育を提供できるよう、小・中学校の適正な規模や配置について検討を進めています。将来的には学校の統廃合を行う可能性もありますが、その際に特に配慮すべきと思われる点について、以下から最もあてはまるものを1つお選びください。
A教育方針、指導方法等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかな心の成長</li> <li>・税のことなど多様な学習の実施</li> <li>・個性を伸ばしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校との交流などにより学校の垣根を越えたつながりの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年や配慮の必要な児童への十分な支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な体験をさせてあげてほしい</li> <li>・将来の仕事や卒業後の進路を考えるきっかけづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の生徒に対する、地域からのサポートを充実してほしい</li> </ul>	
B学校、学級の規模・配置等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のままで十分ありがたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1クラスの人数は少ないが、異学年交流などもあり、仲が良い</li> <li>・2クラスで各クラス20名程度が、多すぎず少なすぎずちょうど良い</li> <li>・今は少人数なので、もう少し1学年の人数が多いほうが良い</li> <li>・複式学級の回避や早期の統合を希望</li> <li>・1クラス35人は多すぎる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数になっても統廃合しないでほしい</li> <li>・ICTの活用など統廃合の前に検討すべきことがある</li> <li>・統廃合には慎重になるべきで、子供の不安や、課題への対応を十分考慮してほしい</li> <li>・新しい人間関係や環境に早く慣れるために、統廃合の結論は早く出してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところ学校生活を楽しんでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス・学年をこえて交流できるよう工夫されている</li> <li>・生徒数が多く、圧倒されて疲れてしまう</li> <li>・1クラスの人数を少なくしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の人数が多すぎず少なすぎずちょうど良い</li> <li>・少人数の学校であればありがたい</li> <li>・通学の負担を考えると、ICTでの合同授業などの工夫で統合を回避してほしい</li> </ul>
C通学手段		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人での登下校とならないような工夫をおこなってほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合の場合は、距離や安全性も含め、スクールバスの検討をしてほしい</li> <li>・徒歩通学がよい(安全性、通学中の経験、体力低下の心配など)</li> <li>・安全に通れる道の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理的に子供が通いやすいこと</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスの検討をしてほしい</li> <li>・部活帰りの車の事故などが心配</li> <li>・通学路における街灯の設置</li> </ul>
D交友関係		<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の人数差が大きく、発言しづらい場合がある</li> <li>・1クラスのため人間関係のトラブルに逃げ場がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合される生徒の疎外感やアウェー感がないようなケアの実施</li> <li>・統廃合で地区が広がることで、各家庭の関係が希薄化することが不安</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合される少人数の学校の生徒が抑圧されてしまうため、安易な統合は回避してほしい</li> </ul>
E施設の安全対策			<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災拠点でもあり安易に統廃合すべきでない</li> <li>・老朽化対策や災害対策など施設の安全性を確保してほしい</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の立地の改善</li> <li>・学校施設の防災対策</li> </ul>
F地域連携			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の豊かな地域との交流を、少子高齢化の波に負けずに広げてほしい</li> <li>・遠い学校になったときに住んでいる地域を深く知る機会が減ることへの心配</li> </ul>			
G教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の負担軽減や教員数の増加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人ひとりを見られる教職員数の確保</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の配置</li> </ul>

橋本市立学校適正規模・適正配置に関する保護者アンケート調査報告書  
(追加)

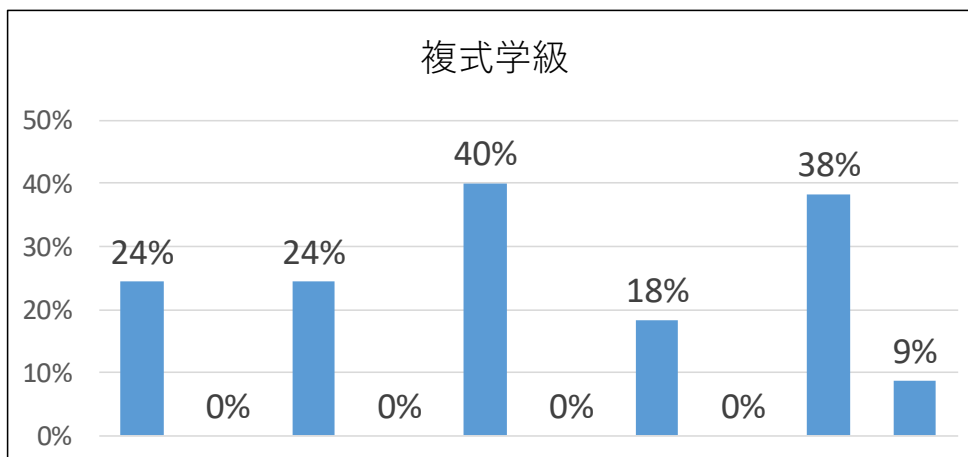


小学校の「問3 児童（お子さま）が通っている学校に改善してほしい項目があればお選びください。（最大3つ）」の設問に関し、学校規模別の回答比率や回答数、及び、グラフは次のとおりです。

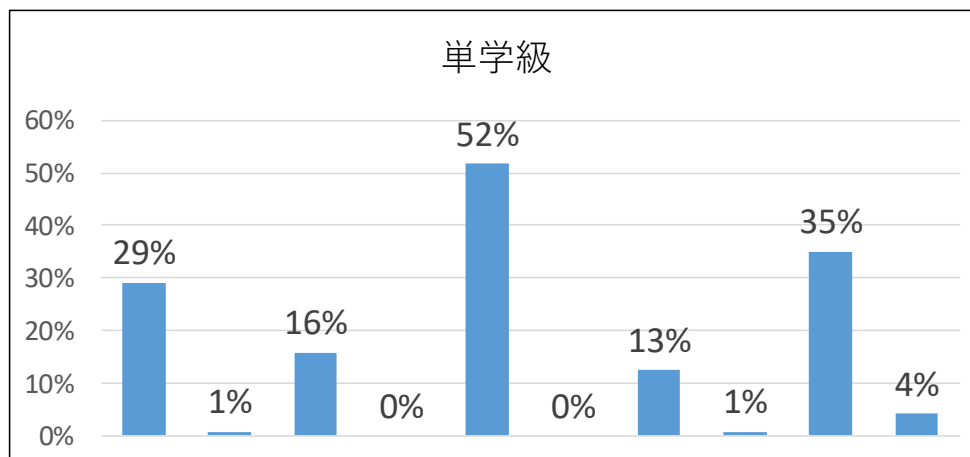
なお、選択肢の「特になし」を選択された方のなかには、その他の選択肢と「特になし」の両方を選択している方や、自由記載の内容から「分からない」という意味で選択されていると推察される方などがいらっしゃいました。このため、「特になし」を選択した全ての方が、課題がないという解釈をすることはできません。



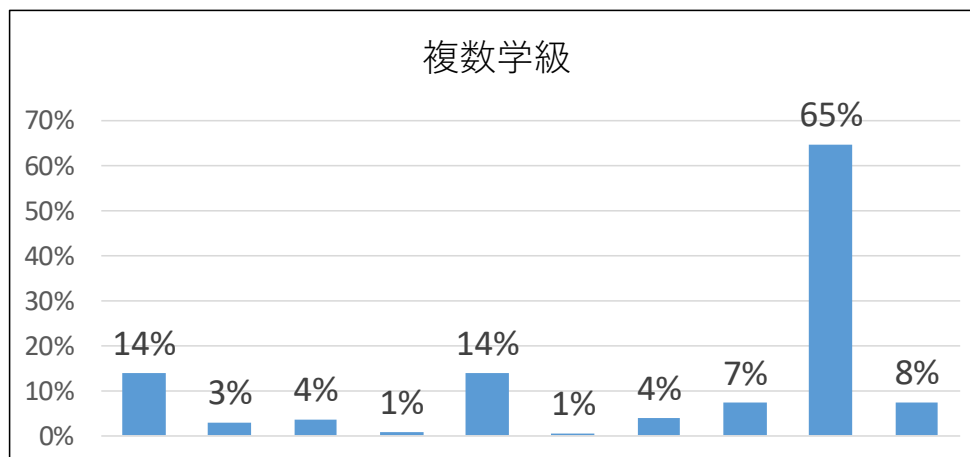
小学校全体	16%	2%	7%	1%	20%	0%	6%	6%	60%	7%	
複式学級	24%	0%	24%	0%	40%	0%	18%	0%	38%	9%	
単学級	29%	1%	16%	0%	52%	0%	13%	1%	35%	4%	
複数学級	14%	3%	4%	1%	14%	1%	4%	7%	65%	8%	
	クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと	一人ひとりが活躍する場や機会が少なくなること	児童数が多く、学校行事等で係や役割分担のない子が現れるなど、グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと	グループ学習でグループ数が多く、意見を発表できる機会が少ないこと	クラス替えができず、人間関係が固定化していること	児童間のつながりが弱いこと	クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、行事の教育効果が下がること	児童数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・	同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと	特になし	選択なし



複式学級	24%	0%	24%	0%	40%	0%	18%	0%	38%	9%	
	クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと	一人ひとりが活躍する場や機会が少なくなること	グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと	グループ学習でグループ数が多いこと	クラス替えができず、人間関係が固定化していること	児童間のつながりが弱いこと	クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、行事の教育効果が下がること	児童数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・	同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと	特になし	選択なし



単学級	29%	1%	16%	0%	52%	0%	13%	1%	35%	4%	
	クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと	一人ひとりが活躍する場や機会が少なくなること	グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと	グループ学習でグループ数が多く、意見を発表できる機会が少ないこと	クラス替えができず、人間関係が固定化していること	児童間のつながりが弱いこと	クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、行事の教育効果が下がること	児童数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・	同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと	特になし	選択なし



複数学級	14%	3%	4%	1%	14%	1%	4%	7%	65%	8%	
	クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと	一人ひとりが活躍する場や機会が少なくなること	グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと	グループ学習でグループ数が多く、意見を発表できる機会が少ないこと	クラス替えができず、人間関係が固定化していること	児童間のつながりが弱いこと	クラス数が多く、同じ学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、行事の教育効果が下がること	児童数が少なく、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・	同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと	特になし	選択なし